

市民と野党の共闘で政治を変えよう。憲法、くらし、平和を大切にする都政を

# 都民がつくる革新都政

発行：革新都政をつくる会  
発行人・中山 伸  
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10  
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031  
HP:https://www.kakushintosei.net  
E-mail: info@kakushintosei.org  
(1部 25円、送料は別途)

## 視点

### 反動ブロックの形成を許さぬ国民的共同を

参院選で極右・排外主義の潮流が伸長、臨時国会でスパイ防止法の制定を狙う動きが強まっています。参政党の神谷宗弊代表は「臨時国会を前に「優先順位が高いのはスパイ防止法」といい、法案の準備へ法制局との相談を始めています。総裁選でスパイ防止法制定を公約に掲げた高市早苗議員が自民党の新総裁に就任しました。また、維新の会は9月にスパイ防止法制定の初会合を開催。他党との法案の共同提出の動きを見せています。国民民主党も「スパイ防止法チーム」の初会合を開催、与野党の協議をすすめるようとしています。神谷代表の言動からスパイ防止法の対象は公務員だけに止まらず、政治家、弁護士、メディア、裁判官、テレビタレントなど広範な人々に及ぶことは明らかです。

スパイ防止法を反動ブロック形成の突破点にさせないために、思想・信条の違いを超えたあらたな国民的共同をただちにひろげ、危険な悪法制定の動きを阻止しましょう。

## 戦争法廃止！ 9・19国会正門前行動

9月19日、国会正門前で、総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクションが「武力で平和はつくれぬ！強行採決から10年 戦争法廃止！9・19国会正門前行動」を開催し、戦争法廃止！排外主義を許さないの訴えが国会を包囲しました。



### 安保法制10年 戦争をする国づくりを許すな！

集会では主催者の総がかり行動実行委員会の菱山南帆子共同代表が、「夏の参院選では、『日本ファースト』など排外主義を掲げる政党が議席を伸ばした。しかし、選挙の投票率が60%近くまで上がったのは、政治に絶望していた人たちが『政治をどうにかしたい』と注目した結果だ」と指摘。「多くの愛

わりたい変えたい」という願いを本当の形にできるのは私たちだ」と訴えるとともに、2015年のたたかい以降、1人ひとりがまちなかでスタンディングするなど運動に参加するハードルが下げられ、持続可能な運動体がつくられ、「全国に共同の輪が広がっている」「力を合わせ、大きな運動を起こしていこう」と訴えました。

が、市民と野党の共闘につながり、衆院選で自民、公明を過半数割れに追い込む大きな力となったと強調。さらなる大きな共同を広げることと呼びかけました。

つづいて市民連合・上智大学教授の中野晃一氏、日弁連憲法問題対策本部副本部長の山岸良太氏、移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長の山岸素子氏が排外主義や戦争に向かう動きに反対し、大きな共同を広げようとスピーチしました。

参加者は「戦争法は今すぐ廃止」「憲法を生かせ」「排外主義は許さな」と国会に向けてコールをおこなっていました

(写真提供・東京民報社)

### いま、東京の子どもと教育は

#### 第3回都政学習会開催



10月1日 日夜、石原都政以降、小池都政につづく東京の教育破壊を焦点に都政学習会を開催しました。

どを自らの経験、革新都政と教育にもふれて述べ、石原都政以来の教育現場、学校の息苦しさや制度的課題を究明しました。そして、東京都の教育政策を転換させ、教育に希望をとりもどそうと呼びかけ、そのために都民、教職員、民主勢力の共同行動が必要だと述べました。

都政を身近なものとして学ぶ都政学習会の3回目です。

公立・私学の教職員、市民、学生研究者、地域など教育に携わる幅広いみなさんが参加しました。

講師は中妻雅彦氏(東京自治問題研究所常務理事)。講演のテーマは「東京の子どもと教育の困難の根源を考える」。

中妻氏は、東京の教育において先生への差別選別賃金格差、教員未配置の常態化、不登校児童生徒の急増、「モノ言えぬ学校」の空気、誤りを認めない行政な

講演を受け、参加者から教育現場の実態、都教委の強権的施策に抗するとりくみなどの発言が飛びました。特別支援学校の教室不足や都立定時制高校廃止、高校入試への英語スピーキングテスト問題、教員不足、私学の現状などを教育現場や市民団体、退職教職員が劣悪な実態を告発、あわせて革新都政が教育を変えた力も紹介され、「東京の教育を変えるために大きな輪を広げたい」との声があがりました。

講壇を受け、参加者から教育現場の実態、都教委の強権的施策に抗するとりくみなどの発言が飛びました。特別支援学校の教室不足や都立定時制高校廃止、高校入試への英語スピーキングテスト問題、教員不足、私学の現状などを教育現場や市民団体、退職教職員が劣悪な実態を告発、あわせて革新都政が教育を変えた力も紹介され、「東京の教育を変えるために大きな輪を広げたい」との声があがりました。

#### 第3回定例会

小池都知事、さらなる東京大改造推進を表明

6月の都議会議員選挙後、初となる第3回定例会が9月24日から10月9日までの会期で開催されました。

所信表明に立った小池都知事が最初にとりあげたのは物価高騰対策をはじめとする都民生活の防衛や地球温暖化対策、首都直下地震への備えなど都政の喫緊の課題ではなく、9月に開催された世界陸上競技選手権大会でした。

しかも知事は「34年ぶりとなる世界陸上が成功裏に幕を閉じました」と自画自賛。しかし、異常な熱帯性のもとの開催で、男子マラソンでは出場した88人の選手のうち4分の1の22人が途中棄権。また、競技の判定や誘導などについても不祥事があった大会への不信、不満が渦巻く大会となり、ジャマイカ代表のステイブン・フランシスコーチが「世界最高峰の大会としてふさわしくない」と述べるに至りました。さらに、東京都は150億円の大会経費について4割の60億円(国10億円)を負担するという大盤振る舞い。これは赤字垂れ流しとなっている新国立競技場の救済に他なりません。

そして小池都知事は発言のなかで、最重要な課題である貧困と格差について一言も触れることなく、物価高騰に苦しむ都民の救済、支援についても述べることはありませんでした。その一方で、国際競争力の強化や国際金融都市の推進など財界ファーストの東京大改造については所信の3分の1ほどの時間をかけ、都民置き去りの都政推進をあらためて表明しました。

### \* 青い空 \*

ある新聞で「でらめ」は「嘘」より強大な敵という論文を読んだ。コミュニケーションと言語を研究する哲学者の書いたものだ。そのなかで、「嘘は何が真理であるかを気にしたうえで相手

を真理から遠ざけるような言明(でたらめ(ブルシットbullshit))とはそもそも真理への関心を持たずになされる「何が事実か何が事実でないか見極めようという前提をそもそも共有していない」とあった。これを読んで腑に落ちることがたくさんあった。▼「でたらめを乱発している政治家の代表格はもろろんトランプ米大統領だろう。大統領選中の討論会で『移民たちが犬を食べている』と発言して世界を驚かせた。現在進行中の自民党総裁選(この号が発行される時はもう結果が出ているだろう)でも『奈良の鹿の腹を蹴っている外国人観光客がいる』と発言した候補がいて物議をよんでいた。▼一部の政治家のこういう発言はそもそも真理や事実を伝えようとは思っていないのだろう。有権者の間に分断をもたらし、敵を定めて自らの立場や権力を正当化するのが発言の目的だとしたらこれに抗するにはどうしたらいいのか。あきらめずに反論すること、そして、対話すること。①

#### 都議会第4回定例会

開会前宣伝行動  
12月1日(月) 17:15~  
都庁都民広場横

開会 12月2日(火) ~  
閉会 12月17日(木) 予定

### 都議選後、初の定例会前宣伝



9月22日、都庁前で6月の都議選後、初の議会論戦がおこなわれる都議会第3回定例会に向けたリレートークが開催されました。

リレートークでは各分野の代表から30人

学級や物価高騰対策、中小企業支援、雇用、住まいなど切実な都民要求の実現を求める訴えがつけばつきました。

6月の都議選で新たに議席を獲得した日本共産党のせいの恵子議員（北区選出）は、都議選後の日本共産党都議団の公約実現のとりくみを紹介するとともに、「ひきつづき都議会での市民と野党の共闘を強める」ことを表明しました。

## ひろがる都民のたたかい

### タワーマンション建設でアーケード破壊 ひろがるハッピーロード大山商店街を守れのたたかい②

#### 特定整備路線補助 26号線を考える会（板橋区）



(写真：超高層マンションの建設でアーケードが取り壊され青天井となったハッピーロード大山商店街)

ハッピーロード大山商店街にある「コモディイイダ」というスーパーストアは、社長が最後まで闘うと、商店街を守れ、道路はいらぬ、と運動を繰り広げている「大山問題を考える会」とともに何回もデモ行進を取り組み、商店街には様々な反対のデコレーションが光っています。

「大山問題を考える会」では、2025年度までに完成予定だった補助26号線が、また5年延長されたことに「仮設アーケードの設置」をよびかけ、商店街を、地域住民の憩いの場でもあるハッピーロード大山商店街を守りぬこうとがんばっています。

不当判決ではありませんが、裁判闘争における高等裁判所判決ではこの道路計画の「地域住民、商店街への影響」を認め、26号線により地域が変容を迫られることが避けられない状態であることが明らかにしました。

私たち「特定整備路線補助26号線を考える会」は、最高裁の「上告棄却」を受け、「26号線訴訟団の解散と今後の運動について」と題して総会を2回持ち、新たに役員も増やし、運動も再出発しました。引きつづきハッピーロード大山商店街の分断を許さない、地域経済の損失、また環境問題など、多岐にわたります。

### 「いのちの砦は渡さない」平和を守る決意

#### 東京母親大会連絡会実行委員長 木原秀子



が、会場いっぱい5000人は圧巻でした。「集まるつてやっばりいいね」の声があちこちで聞かれました。

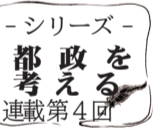
協力ブロック関東のみなさんと

9月28日（日）、29日（月）開催の「第70回日本母親大会 in 東京」は、オンラインも含め、分科会、全体会合わせてのべ1万3000人、東京はのべ23000人の参加で学び、交流し、熱気あふれる大会となりました。

「節目の70回大会はぜひ東京で開催を」の全国の熱い思いを受けて決定したのが2023年9月です。全体会会場の東京国際フォーラムホールAは土・日が空いていなくて初めての月曜開催となりました

道行く人たちに「アピールしました。2日目の全体会は、フリージャーナリストの布施祐一さんが戦後80年と不戦の決意―日本とアジアを再び戦場にしないために」と題して記念講演を行いました。東南アジア諸国連合「ASEAN」が、対話と外交による信頼関係を構築していることを強調し、アメリカ言いなりの政治を私たちの手で変えようと呼びました。

文化行事は前進座。母親大会のために創った「江戸九日母親賑（えこのながつきあなごのこぎわい）に拍手が鳴りやみませんでした。これまで築きあげてきた宝の運動を、つづけていくために力を尽くしたいと思います。



### 〈地方自治体の仕組み〉 執行機関

地方自治体には、議事機関（憲法第93条）としての「議会」と憲法第94条・地方自治法第138条に基づき「執行機関」が置かれ、議会の議員と執行機関の執行機関の長（特別職公務員）はそれぞれ直接選挙で選ばれる二元代表制がとられています。

また、長の補助機関として副知事と会計管理者を置くことが定められるとともに、長に行政権眼が集中することを避けるために、教育委員会や選挙管理委員会などの独立した合議制の委員会及び委員（法第180条の5）の設置が定められています。

「総務・企画部門」と「業務部門」に大別され、東京都では政策企画局・総務局・財政局などの総務・企画部門と福祉局、産業労働局、建設局交通局などの業務部門で編成されています。その執行機関を支え、「住民の福祉の増進」という自治体の責務の遂行にあたっているのが職員です。

この仕組みは「執行機関多元主義」と言われるもので、長の独裁を避け、民主的な行政の運営を確保するために設けられているもので、「政治的中立性や公平性が求められる分野や慎重な手続きを必要とする特定の分野」総務省に限って設置されるものです。さらに、執行機関からの要請に基づいて特定の事項の調停、審査、審議、調査をおこなう付属機関（都市計画審議会や防災会議など）の設置も認められています。

一方、憲法は「すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない」と定め、地方公務員法で「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない」としていることは重要で、

また、執行機関の補助機関として副知事のもとに「内部組織」としての局・部・課などが置かれ、職員が配置されています。これらの内部組織の態様

本来、自治体は「健康で文化的な最低限度の生活を保障する」責務を負い、「住民の福祉の増進」のために存在しています。小池都知事が「全体の奉仕者」の立場に立ち返ることが強く求められています。